

社会福祉法人所沢しいのき会
所 沢 どんぐりの家
(就労継続支援B型事業
所)

高次脳機能障害の方も一緒に

グループおよび当事業所の概要

(運営の目標・目的)

- 地域における自立支援センターづくりを遠距離目標にした地域活動を展開
- 原点は東久留米市に創設された精神障害者家族会「蒼空会」の活動理念・目標
- 「一日でも早く・一人でも多く」の方々の病院からの退院促進、地域の受け皿
- 二つ家族会（蒼空会・所沢蒼空会）と二つの社会福祉法人（椎の木会・所沢しいのき会）を推進主体として活動

病を持たれた方々が地域での生活を自由に、かつ安心して

過ごせるように就労・生活・相談支援等の各領域で

「地域生活包括支援ネット（自立支援センター）」の構築を目指す



どんぐりグループ紹介



- | | | | |
|----|--|--|------------------|
| 1 | どんぐりの家
(就労継続B型事業所) | 〒203-0054 東久留米市中央町 6-2-55 | TEL042-475-9559 |
| 2 | 喫茶どんぐり
(どんぐりの家出張所) | 〒203-0033 東久留米市滝山 4-1-10
西部地域センター内 | TEL042-471-0789 |
| 3 | グループホームどんぐり中央荘 | 〒203-0054 東久留米市中央町 6-1-16 | TEL042-472-6770 |
| 4 | 第二どんぐりの家
(就労継続B型事業所) | 〒203-0054 東久留米市中央町 1-3-8 | TEL042-470-1685 |
| 5 | ECOどんぐり
(第二どんぐりの家・従たる事業所) | 〒204-0011 清瀬市下清戸 1-212-4
清瀬市コミュニティプラザひまわり内 | TEL042-493-0080 |
| 6 | 清瀬どんぐりの家
(就労継続B型事業所) | 〒204-0004 清瀬市野塩 4-230-1 | TEL042-493-0210 |
| 7 | リサイクルどんぐり
(清瀬どんぐりの家出張所) | 〒204-0024 清瀬市梅園 3-23-21 コリアス武蔵野 1F | TEL042-492-1736 |
| 8 | ベーカリーショップどんぐり 松山工房
(就労継続B型事業所) | 〒204-0022 清瀬市松山 3-18-35 | TEL042-492-8009 |
| 9 | ベーカリーショップどんぐり(野塩店)
(ベーカリーショップどんぐり・従たる事業所) | 〒204-0004 清瀬市野塩 4-230-1(工房併設) | |
| 10 | ベーカリーショップどんぐり(元町店)
(ベーカリーショップどんぐり・従たる事業所) | 〒204-0021 清瀬市元町 1-13-24 常岡ビル 1F | |
| 11 | ベーカリーショップどんぐり(松山店)
(ベーカリーショップどんぐり出張所) | 〒204-0022 清瀬市松山 3-18-36 | TEL042-495-4218 |
| 12 | どんぐりひまわり食堂
(ベーカリーショップどんぐり出張所) | 〒204-0013 清瀬市上清戸 1-16-62
清瀬市障害者福祉センター内 (呼出) | TEL042-495-5511 |
| 13 | コミュニティセンターどんぐり | 〒204-0022 清瀬市松山 3-18-35 | |
| 14 | グループホームどんぐりハイツ | 〒204-0022 清瀬市松山 3-18-36 | TEL042-493-7550 |
| 15 | グループホームどんぐりハイツ(松山ユニット) | 〒204-0022 清瀬市松山 3-18-35 | TEL042-492-5522 |
| 16 | 所沢こぶしの家
(地域活動支援センター事業) | 〒359-0038 所沢市北秋津 790-2 | TEL04-2993-0508 |
| 17 | 地域生活支援センター所沢どんぐり
(所沢市相談支援事業) | 〒359-0038 所沢市北秋津 790-2
所沢こぶしの家併設 | TEL04-2993-8585 |
| 18 | 所沢どんぐりの家
(就労継続B型事業所) | 〒359-0032 所沢市若松町 839-19 | TEL050-3761-4347 |
| 19 | コミュニティサロンどんぐり
(所沢どんぐりの家・従たる事業所) | 〒359-8501 所沢市並木 1-1
所沢市役所 1F ロビー喫茶室 | TEL04-2998-9079 |
| 20 | 清瀬市地域生活支援センターどんぐり | 〒204-0021 清瀬市元町 1-13-24 常岡ビル 1F | TEL042-495-5110 |
| 21 | 東久留米市地域生活支援センターあおぞら | 〒203-0053 東久留米市本町 2-3-1-210 | TEL042-476-1365 |
| 22 | ヘルパーセンターどんぐり | 〒204-0021 清瀬市元町 1-13-24 常岡ビル 1F | TEL080-6639-7677 |
| 23 | 東久留米市障害者就労支援室 あおぞら | 〒203-0052 東久留米市幸町 3-7-7-101 | TEL042-476-2625 |
| 24 | 東久留米市ショートステイ室 | 〒203-0054 東久留米市中央町 6-1-16 | TEL042-477-0131 |

清瀬・東久留米地区精神障害者家族会

蒼空会 本部：〒203-0054 東京都東久留米市中央町 6-1-16 TEL042-477-0131 FAX042-497-3136

所沢地区精神障害者家族会

所沢蒼空会 本部：〒359-0038 埼玉県所沢市北秋津 790-2 TEL04-2993-0615 FAX04-2992-1928

社会福祉法人権の木会 本部：〒204-0004 清瀬市野塩 4-230-1 TEL042-493-0210

社会福祉法人所沢しいのき会 本部：〒359-0032 埼玉県所沢市若松町 839-19 TEL050-3761-4347

自立支援センターどんぐりグループ 本部：〒203-0054 東京都東久留米市中央町 6-1-16 TEL042-477-0131



所沢どんぐりの家の概要

共同作業所～小規模通所授産施設、そして就労継続支援 B 型事業所としての現在

- 平成 8 年に東所沢の 2 D K マンションの一室を借りて開所
- 平成 1 2 年に北秋津へ移転、平成 1 5 年法人格取得後、小規模通所授産施設へ
- 平成 1 9 年 3 月、グループ内最初に自立支援法に移行
- 平成 2 5 年 1 2 月、若松町に国庫補助事業により移転、現在に至る

日中の居場所から就労訓練の場へ

統合失調症や気分障害が中心 ⇒ 多様なニーズが顕著に

(知的障害・発達障害・高次脳機能障害 等)

所沢どんぐりの家の概要

- 提供するサービス

「働く場面（場所）」 「作業工賃の支払い」

「日常生活・相談支援」 「各種情報提供」

- 利用対象者

主として精神障害者

- 開所日

月曜日～金曜日 土日祝日は休み

開所時間は 8:00～18:00

- 定員

40名（本体30名・従たる事業所10名）



所沢どんぐりの家の概要

授産事業「働く場面（場所）」：配食弁当事業

- 日替り弁当を中心に一日約150食を製造
- 調理補助、仕込み、配膳、片付け 等の作業



所沢どんぐりの家の概要

授産事業「働く場面（場所）」：ベーカリー事業

- 販売・納品用・保育園等給食用等、一日約500個を製造
- 製造補助、仕込み、包装、出荷準備、片付け 店舗接客 等の作業



所沢どんぐりの家の概要

授産事業「働く場面（場所）」：簡易軽作業事業

- 紙袋や化粧箱等の紙器加工、雑誌付録、販促資材等の組立
ダイレクトメール等の封入作業、廃棄P C部品の解体選別等
- 内職的な手作業が中心



所沢どんぐりの家の概要

授産事業「働く場面（場所）」：古紙回収等事業

- 戸外作業、地域を回り新聞、雑誌、段ボール等の回収を行う
- 各種チラシやショッパー・ぱど等のポスティング作業も行う



所沢どんぐりの家の概要

授産事業「働く場面（場所）」：サロン喫茶店事業
(所沢市役所 1 階：従たる事業所)

- 開店・閉店準備、ホールでの接客、レジ接客、庁舎内の出前配達 等
- 厨房での調理補助、洗い場、店内清掃 等



所沢どんぐりの家の概要

利用状況・運営状況 等 (H26. 8月現在)

- 利用契約者数 81 名
- 利用実人数 61 名
(20名は就労中、再入院中、その他の理由で利用中断中)
- 利用延人数 626 名
- 一日平均 35 名
- 職員数 9 名 (内非常勤3名)
- 授産活動等 5事業 (配食弁当・ベーカリー・軽作業・古紙回収・喫茶店)
 - ・年間売上合計 (昨年度) 約 32,160,000円
 - ・工賃支払総額 (昨年度) 約 9,970,000円
 - ・平均工賃月額 (昨年度) 約 13,600円
(最高額59,250円)

所沢どんぐりの家の概要

利用状況 等

在籍者の構成

	10代	20代	30代	40代	50代	60-64	65以上	計
男	0	7	9	15	9	3	0	43
女	0	7	10	13	6	1	1	38
計	0	14	19	28	15	4	1	81

平均年齢 41.9歳

障害別内訳

統合失調症	気分障害	その他 精神疾患	身体障害	知的障害	発達障害	高次脳機能 障害	難病
48	13	8	3	6	6	4	0

※重複あり

高次脳機能障害をお持ちの方との出会い

●国立リハビリテーションセンター 平成17年度高次脳機能障害者モデル事業

- ・リハセンター入所者1名を当事業所（小規模通所授産施設）で受け入れ
- ・受け入れに当たって職員間で基礎知識程度を学ぶ機会を設けた
- ・ベーカリー作業の他、内職的軽作業等に参加
- ・当時は綿密なリハ職員のフォローもあって特に問題もなく終了できた
- ・受け入れてみたことで「（良い意味で）何とかなる、対応の基本は同じ」ことを体感

●その後、特に意識はしていなかったが・・・平成24年まで利用希望無し

●平成24年4月、平成25年7月、11月、平成26年3月に利用契約者 4名

高次脳機能障害をお持ちの方の利用状況

- 4名の高次脳機能障害の方々について

- ・ 利用の経緯

- 保健センター「高次脳機能障害のつどい」

- 保健センター「健康づくり支援課」「こころの健康支援室」

- ところざわ障害者就労支援センター

- ・ 利用目的

- 一般就労に向けたステップとして

- 福祉的就労の場として

- デイサービスの一つとして

高次脳機能障害をお持ちの方の利用状況

- 4名の高次脳機能障害の方々について

- ・ 利用状況

週2日～5日 各々の体調や目的等に応じて 4時間/日

通所率はほぼ100%

他の精神障害をお持ちの方は調子の波に大きく左右され、不安定

- ・ 支援状況

身体機能（麻痺等）に障害が残っている方もいるが特別な支援は要していない

作業参加の方法を模索 ⇒ 作業工程の細分化 等

今現在、私たちの提供出来得る環境と持ちうる職員の力量の範疇で

高次脳機能障害をお持ちの方も一緒に

●受け入れている中で感じていること

◎ 「高次脳機能障害だから・・・」ということとはあまり感じない

◎ 個々の状況・状態に対する支援は他障害でも同じこと

◎ 当事者が教えてくれる（当事者から学ぶ）ことで力量アップ！

当事者から・・・

- 五位渕 亘（ごいぶち わたる）さん
当事業所を3月より利用
ベーカリー部門にて週4日利用中
職人さんと共に主に製造補助を担当
現在は作業の中心的存在、職人からの信頼も厚い
- 受入側（事業所）からの発言より、利用者（当事者）の発言が
何よりも説得力があり、得るものが多い！



